

かな部

山野井 珠 凡

長野県にあるいわさきちひろ美術館へ行ってきました。私は数年前から絵画を学び直す機会を得て、主に印象派の油絵の模写を習作しています。そして水彩画と言えば、絵本画家として有名なちひろが好きです。彼女は十四歳で油絵を始め、十八歳の頃、藤原行成の和仮名を学び、二年間で師匠の代稽古をするほど上達されたそうです。今回、その優美な書も見ることができて、目からうろこの思いがしました。

※前月号（8月号）校正誤り
誤 私結構かわります 正 私は結構こだわります
かな部 条幅課題

A ささなみの志賀の幸崎幸くあれど

（柿本人麿）

大宮人の船待ちかねつ

・楽波の志賀の幸崎は昔のまま変わらずにいるけれど、（かつて龍頭鎧首の船を浮かべた）大宮人のその船は、いくら待っても甲斐がないのだ。

B 花薄風のもつれは風が解く

（福田蓼汀）

・一面の薄の野、風が吹き、一方に靡き、また戻る。花薄の吹きなびく様子を見事にとらえている。単純な構成ではあるが秋風の特徴も表れている。

（しめきり…………十月十七日）

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

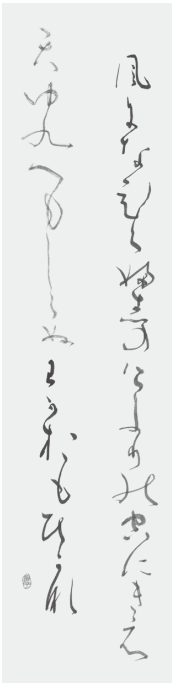
※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

（選評）

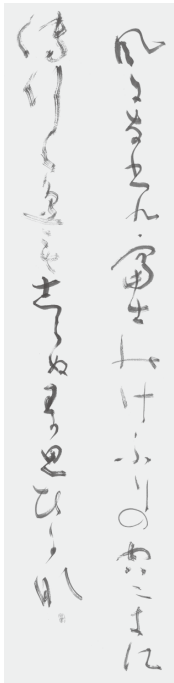
師範・準師範の部

紅華君 二行の文字の疎密、文字の長短見事。
娃田君 すっきりと単体でまとめられた。
香溪君 縦三群のちらしの妙。意欲をかう。
華舟君 大らかで骨力有る線魅力。
清子君 構え大きく、縦への流れが美しい。

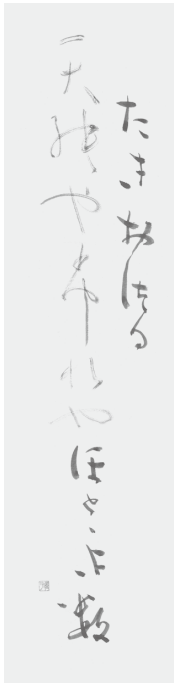
(助教以下の部)



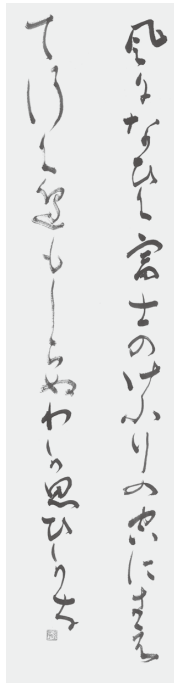
大嶋 優 子



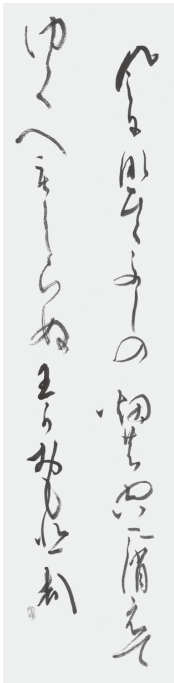
能勢 玄 海



増田 瞳 子

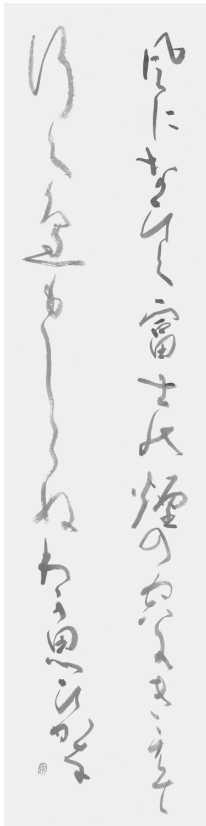


福井 亜 季

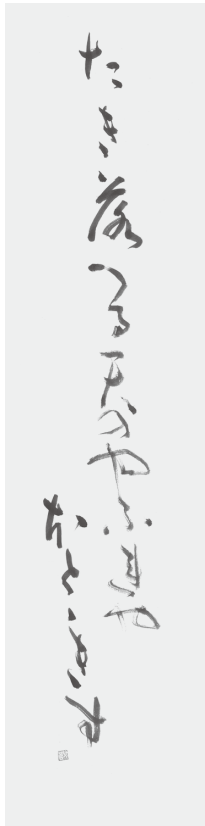


吉村 華 燿

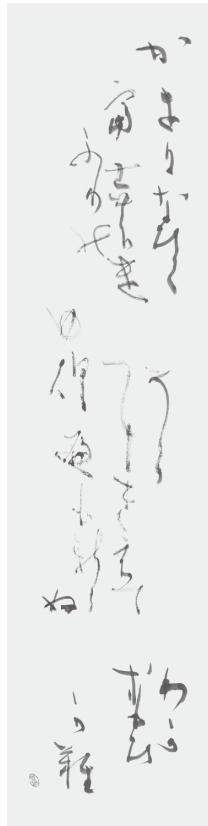
自然な文字の強弱、大小が良い。



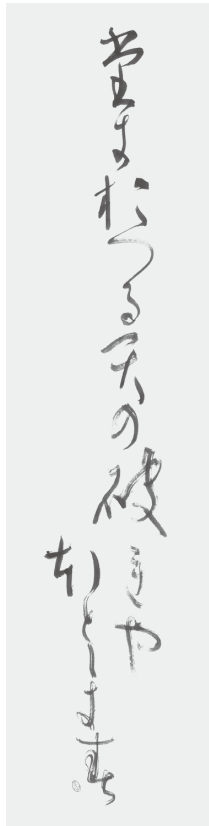
後藤 紅 華



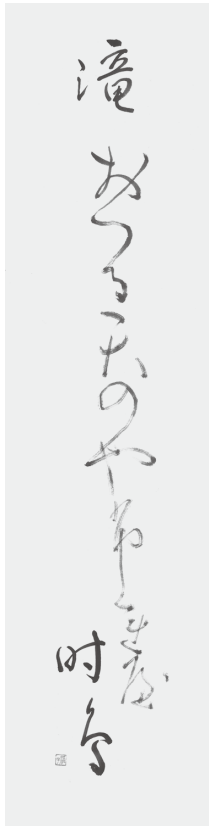
久米 娃 田



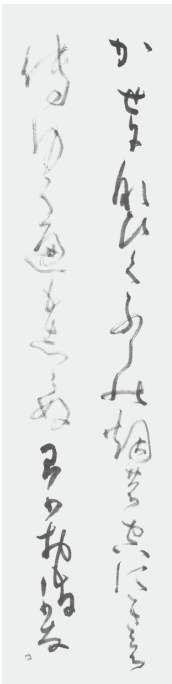
山路 香 溪



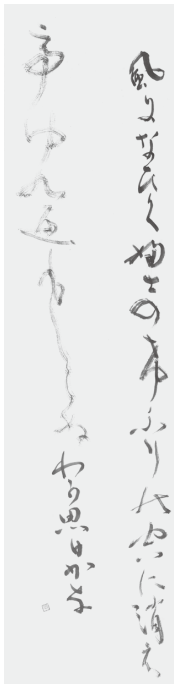
灘 華 舟



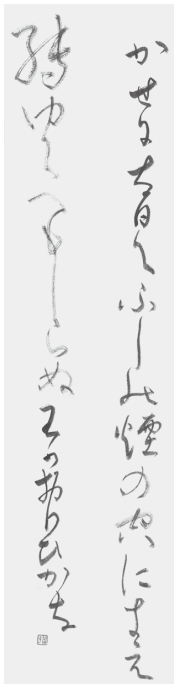
八木 清 子



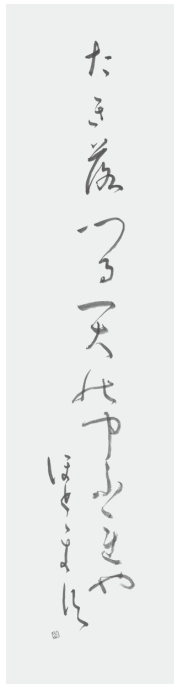
種村 みや 子



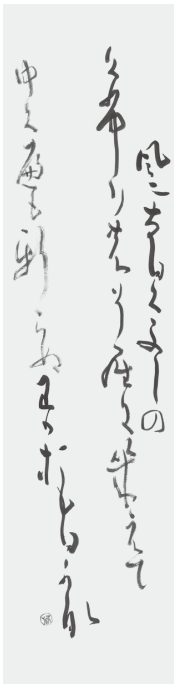
武田 貴 子



西村 智 子



了戒 華 映



長村 蓉 子

多彩な用字、三行ちらしも佳。